



ウサギの毛の色はなぜ季節によってかわるの

冬、白い毛になるウサギ

冬、白い毛になるのは巣穴をもたないノウサギだけで、世界のウサギ64種のうち5種類だけです。しかも、雪がつもる地域にすむ種類のみに見られます。日本の本州のノウサギは白い毛になりますが、雪のない地域では白い毛にはなりません。

冬は、白い毛で目立たなくする

ワシやタカの食べ物を調べると、夏場はネズミ類が多く、冬場は減ります。ネズミ類は、冬場は雪の下で生活し、地上に姿を見せなくなるためです。かわりに、ノウサギ類が多くえものにされています。冬はどうしても目立つようになりやすいため、とらえられる機会が多くなります。冬、白い毛に変わるのは、少しでもワシやタカからの目からのがれるため、とってよいでしょう。

ライチョウの冬羽根

高山にすむライチョウも、冬はまっ白な羽根に生えかわります。ウサギと同じ理由で、白い雪にまぎれて、目立たなくなります。（監修・今泉 忠明）

